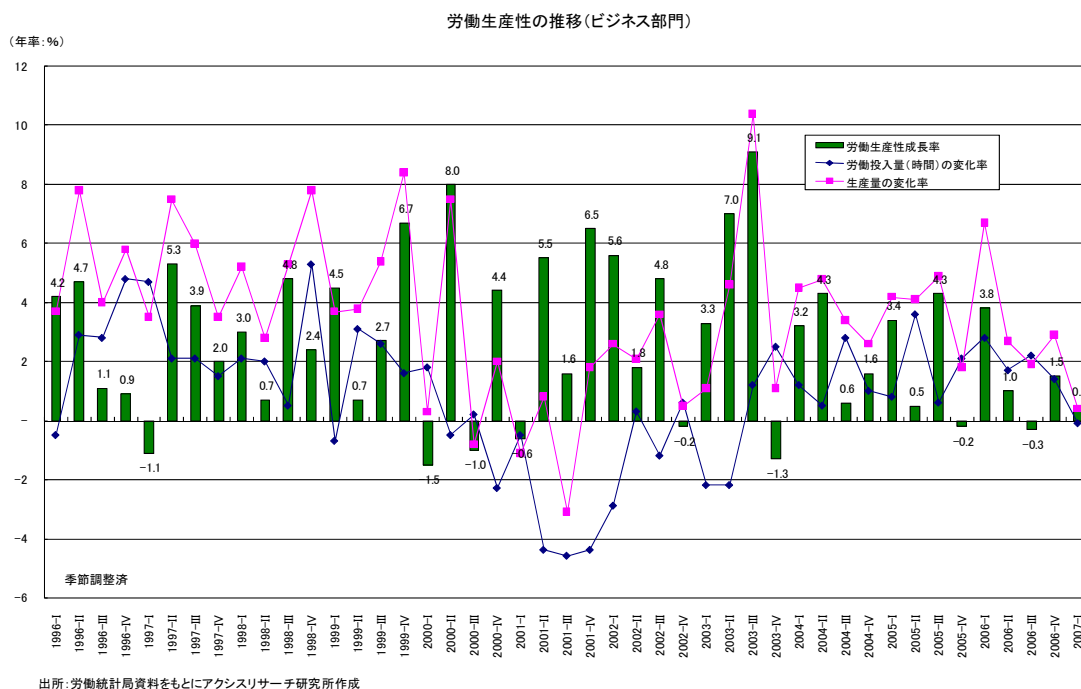


米国経済点描 (2007. 06. 07)

～2007 年第 I 四半期労働生産性～

6 月 7 日、米国労働省労働統計局 (BLS) は 2007 年第 I 四半期の労働生産性を公表した。2007 年第 I 四半期の労働生産性 (生産量/労働時間) の伸びは年率で 0.5%であった。ここ 4 四半期連続で 2%を割り込み、労働生産性の伸びの低下傾向が続いている (図 1 参照)。

2007 年第 I 四半期で注目すべきは、労働投入量が IT 不況の 2003 年第 II 四半機以来 15 期ぶりにマイナスとなった点である。失業率は 4.5%となお低水準を維持しているが、パートや残業時間の短縮等による調整が底流で進んでいることを窺わせる結果である。



○お問い合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル 4 F
TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail contact@axis-research.co.jp